

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	NPO 法人 穎娃おこそ会
役職	
氏名	福島 花咲里 (かざり)
着任日	令和2年2月1日

活動月	令和2年4月(着任3ヶ月)
主な活動	1.トナリノ広報部 オンライン交流会に参加 2.庭のビワが色づいてきました

1. トナリノ広報部 オンライン交流会に参加

首都圏を中心に活動している「合同会社ほとりび」が運営する「トナリノ広報部」のオンライン交流会に参加しました。ほとりびはコンテンツの制作や編集の技術をいかし、カイシャをつくるのを手助けする編集パートナー。トナリノ広報部は、ほとりびが運営するPR/広報領域に特化したライター・編集者のコミュニティです。

書くことを生業にしているわたしにとって、とても気になっていたコミュニティで、前々から参加の機会を伺っていました。すると、新型コロナウイルス感染症の影響から元々はオフラインでの開催を計画していた交流会が、なんとオンラインで行われることに！早速申し込みました。

わたしが参加した時のテーマは、【「編集者」と「ライター」それぞれの役割】について。

主催の方とは直接お会いしたことはありませんが、書くことや情報発信を生業としている共通点もあり、楽しくお話しすることができました。通常であれば首都圏に足を運ぶ必要があったであろう交流会でしたが、オンラインでの開催となったため自宅から参加することができました。

自粛ムード漂う中で思うように活動が進まない場面も多いですが、プラスに働いている面もあり、少しずつ前に進めているような気がしています。

(集合写真はプライバシーの観点から、加工しています。赤丸で囲っているのがわたしです。)



2. 庭のビワが色づいてきました

現在暮らしている家は、所属している NPO 法人 穎娃おこそ会の繋がりでお借りしています。10 年ほど空き家だったにもかかわらず、大家さんが定期的に管理をしていただいていたおかげで大きな傷みもなく、すぐに住み始めることができました。

300 坪ほどある敷地の中にはスモモ、サワーポメロ、だいたい、ビワ、柿など、数種類の果樹の樹があります。お借りする際に大家さんから「特に手入れをしなくても生るよ」と教えてもらい、「本当かな」と半信半疑で過ごしていましたが、見事に実をつけてくれました。

暮らしが始まった去年の夏はスモモがたわわに実っていて、最近ではビワがきれいなオレンジに染まってきました。

普段であればスーパーでビワを見かけても、特に食べたいとも思わず通り過ぎるのですが（ビワゼリーは好きです）自宅の庭に生っている実は美味しそうに見えて、いくつかもぎって食べました。みずみずしい優しい甘さが口に広がり、ローカル暮らしの贅沢が詰まった体験となりました。

また最近急に暑くなってきたようで、我慢できず扇風機をだしました。今年の夏も暑いだろうと今から少々憂鬱ですが、体力づくりをしながら今年の夏を迎えようと思います。

